リンパ浮腫専門医療従事者養成講座 学習目標

施設名：フランシラ ナチュラル セラピストスクール 日本校

履修システム：MLD ブロック（土日×3 ヶ月＝6 回）と MLLB ブロック（土日×3 ヶ月＝6 回）を受講し 半年間（または 1 年以内の振替履修可能）で全 12 回 67 時間以上を修了

【1】事前学習・予習および復習（オンライン動画視聴と教本の確認）

■ 初回の受講までにオンライン学習

- テキスト『リンパ浮腫の手技とケア』PART 1 リンパ浮腫の基礎知識 p.1～42 確認
- フランシラスクールシステム収録動画の事前視聴：
  - 広田内科クリニック・廣田彰男先生「リンパ浮腫総論」
  - フランシラナチュラルセラピストスクール日本校講師・竹内恵美「MLD 基礎講義：リンパ浮腫基礎実技」

■ 予習および復習 オンライン動画視聴：MLD 実技（上肢・下肢）オンライン動画を随時視聴し 対面での実技授業における予習および復習に活用する

【2】MLD（医療リンパドレナージ）ブロック学習目標（土日連続×3 ヶ月＝計 6 回受講）

※ MLD ブロックは基礎（土）から開始し 応用（日）を合わせて計 6 回受講して完結 事前学習として MLD 臨床上肢・下肢オンライン動画を視聴

1. MLD 基礎：理論と基本実技

- リンパドレナージ・ 医療リンパドレナージ・ マッサージの違いを理解する
- リンパ浮腫の理論（リンパの構造と浮腫）および分類と診断を理解する
- リンパ浮腫の治療 禁忌の理解 解剖学・生理学 MLD についての理解を深める
- リンパマップの作成：リンパ節の位置 名称 体液区分線（分水嶺）を理解する
- 4 種類の基本手技および 7 つの応用手技のデモンストレーションと習得
- 部位別の基本的な施術（頸部・腹部・上肢・下肢・胸部・背部・腰臀部）のデモンストレーション後に実習を行う

2. MLD 応用：続発性リンパ浮腫ドレナージおよび臨床症例演習

- 医療リンパマップの作成：リンパ節の位置 名称 体液区分線（分水嶺）を理解する
- リンパ浮腫患者の日常生活においてリンパの流れを滞らせないための指導・注意点・運動療法・スキンケア指導法を習得する
- リンパ浮腫外来の流れを理解し 続発性上肢・下肢リンパ浮腫の実習を行う
- 最終排液のリンパ節を理解し 排液方向を考慮しながら行う
- 皮膚の状態変化（線維化 硬結など）に応じた手技療法を学ぶ
- 廃用性及び原発性リンパ浮腫のリンパ節機能低下や不全の場合の誘導順路を理解する
- 臨床症例をグループで検討し 禁忌や適切な対処法 リンパマップ作成 カウンセリング施術練習を行う
- チェックリストを使用して理解度を毎回確認する
- 時間計測（20 分）による施術を繰り返し練習し 熟練度と再現性を高める
- セルフドレナージ（SLD）の適否判定および指導方法を身につける
- 臨床の治療計画に基づく MLD 11 種類の症例を習得し 個別対応の必要性を理解する

【3】MLLB（多層包帯圧迫療法）ブロック学習目標（土日連続×3 ヶ月＝計 6 回受講）

※ MLLB ブロックは基礎（土）から開始し 応用（日）を合わせて計 6 回受講して完結 事前学習前に MLLB 実技上肢・下肢オンライン動画による事前学習を行う

1. MLLB 基礎：バンデージ手技と多層包帯法

- 弾性包帯の適応と禁忌 種類と特徴 基本の巻き方（ラプラスの法則）を理解する
- 多層包帯法：注意点（巻き始め・巻き終わりの確認ポイント）に留意しながら巻き方を習得し デモンストレーション後に 2 人 1 組で練習を繰り返す
- チェックリストを使用して理解度を毎回確認する

2. MLLB 応用：着圧調整・個別圧迫フォーム作成・弾性着衣指導

- 圧迫圧測定器（KIKUHIME およびピコプレス）を使用し着圧を確認し 調整する
- 時間内での弾性包帯の巻き方を習得（上肢 15 分 下肢 20 分）熟練度と再現性を高める
- 弾性着衣の知識と採寸：各メーカーの違いや種類・採寸法を学び採寸実習を行う 既成の着衣が着用困難な症例にオーダー着衣を作成する方法を習得する
- 圧迫フォーム作成：浮腫状態に応じた個別対応の必要性を学び 圧迫フォームを作成 これを使用した弾性包帯法のデモンストレーションとグループ実践を行う
- セルフバンデージ： MLLB による治療が長期におよぶ症例に対してセルフバンデージの指導法を身につける

【4】修了試験および臨床連携目標（受講の総まとめ）

■ 修了試験の実施要件（MLD・MLLB 両ブロック修了時・受講時間内で実施）

- 修了試験（筆記試験）合格基準： 筆記 80 点以上
- 修了試験（実技試験）合格基準： 実技 80 点以上
  （包帯法を熟練し 再現性が得られているかを圧測定器で確認）
- 合格基準に満たない場合は 再試験を受けなければならない
  （※再試験は MLD 及び MLLB／最終日に実施）

■ 臨床における安全管理・多職種連携

- 圧迫療法やドレナージの絶対的・相対的禁忌症（心不全 急性静脈血栓症 重度末梢血行障害 感染症等）を正しく判断し リスクマネジメントを徹底できる
- 医師・看護師・理学療法士・作業療法士・あん摩マッサージ指圧師等とのチーム医療に必要な症例評価・報告書作成・情報共有能力を身につける